

やっさもっさ新聞は三原を元気にする多くの企業様に支えられ発行しております。

有限会社IWILL土居写場
株式会社赤石硝子建材
赤谷木材株式会社
有限会社安芸緑化機材
公認会計士浅田勝彦事務所
池田電工
岩西自動車
有限会社上田製版印刷所
株式会社ウツミ
宇野事務所
株式会社エヌワイティグループ
株式会社大石製作所
大下建設株式会社
大東印刷株式会社
オートドリーム三原
株式会社小川電気工事
奥田自動車
有限会社お茶の平野園
小野税理士事務所
有限会社笠下工務店
有限会社片山自動車工業
勝原不動産株式会社
株式会社勝村商店
勝村木材株式会社
株式会社ガルバ興業三原工場
寿司・割烹かわ蝶
有限会社河本商店
株式会社関西通商
有限会社完山商店
共立電機産業株式会社
有限会社共和設計
共和不動産株式会社
株式会社桐島電気サービス
熊野開発株式会社
株式会社倉橋匠栄堂
警備保障イーグル88
医療法人仁康会小泉病院
広愛産業株式会社
株式会社コグマヤ
極楽寺
小松木工株式会社
株式会社サービスセンター
株式会社阪井養魚場
株式会社坂元鉄工
株式会社笹井産業
有限会社サニー住設
株式会社SunEighT
三陽環境管理株式会社
山陽建設株式会社
山陽製粉株式会社
有限会社シー・イー・サプライ

CBテクノロジー株式会社
しまなみ信用金庫
株式会社住創
順勝寺
株式会社正田文華堂
株式会社スミダ
株式会社セイム
セブンイレブン世羅町店
惣田司法書士事務所
ダイヤモンドゴルフ練習場
タカシンホーム
瀧宮神社
有限会社タクトコーポレーション
竹本自動車
田中運輸株式会社
田辺製麺工場
有限会社多森薬局
有限会社中央地所
有限会社中国補聴器
くし焼き
有限会社寺迫組
有限会社東亜不動産
トータルサポートTSC
和食処登喜将
富野機工株式会社三原営業
株式会社中野産業
中間醸造株式会社
なぎさ医院内科・皮膚科
株式会社ナンバ洋服店
有限会社西岡設備
にった文具店
日本生命保険相互会社
NEJIR
有限会社野竹電工
株式会社八天堂
株式会社原アルミ建材
ハローランチ株式会社本郷給食センター
光自動車ガラス専門店
松山泰三税理士事務所
平田歯科医院
有限会社広興
広島電気工事株式会社
ファミリーレストラン太陽樹高須店
農事組合法人風舎
株式会社富久屋
福山工業株式会社
株式会社藤井
藤井建設株式会社
藤井稔久税理士事務所
富士金属工業株式会社
株式会社BRIGH T

フジグラン三原
株式会社ブリッジ
株式会社古川製作所
株式会社古林電機
フルモト建機株式会社
アーサロンにしはら
ホンダカーズ三原皆実店
有限会社本田石材工業
株式会社まじま製麺
益谷建設株式会社
松尾社会保険労務士事務所
丸源ラーメン三原
株式会社丸善商會
株式会社みどり商會
有限会社みどり書店
みどり幼稚園
瀬戸内開発株式会社
三原郷心
三原共同生コン株式会社
株式会社三原国際ホテル
株式会社三原シティホテル
三原重量有限会社
三原松操有限会社
三原末広簡易郵便局
三原タイヤ株式会社
M・C・A・T三原テレビ
三原電機有限会社
株式会社三原美装社
三好印刷株式会社
有限会社村上鉄工所
株式会社もみの木量店
盛影塗装株式会社
もりきんデザイン
株式会社森剛
有限会社モリタ美研
上菓 三原の味です。名物です
献銘 ヤッサ饅頭本舗

やっさもっさ新聞

yassamossa new spaper

vol.468



発行所 一般社団法人 三原青年会議所
〒723-0052
広島県三原市皆実4丁目8番1号
三原商工会議所内2階
TEL:0848-63-3515
FAX:0848-62-1141
mail:info@mihara-jc.com
編集 広報教育委員会



2020年度 一般社団法人 三原青年会議所 第59代理事長 勝村 晋より 新年のご挨拶



三原市内高等学校、中学校生徒の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

私は、一般社団法人 三原青年会議所の2020年度理事長を務める勝村と申します。

昨年は「Spread Your Wings ～自己成長とまちの希望を実現するために～」というスローガンのもと、様々な活動を展開しました。

本年は三原青年会議所のスローガンを「変革 ～変化を恐れずムーブメントを起こそう～」と掲げ一年間活動を行います。令和という新しい時代を迎え、予測出来ない自然環境や社会環境の変化、そして三原に住む人々の生き方も多様化しています。その変化を把握し、我々が目指す方向性を打ち出していきます。また、高校生や中学生の皆様にご参加いただける事業を考えていますので、事業実施の際には皆様の参加をお待ちしております。

最後に今年で45回目を迎える三原やっさ祭りも三原青年会議所会員一同盛大に取り組んでいきますので皆様、今年もやっさ祭りに是非お越しください。



2020年度の三役をご紹介します！
専務理事 舩谷 明倫
理事長 勝村 晋
副理事長 森川 浩一



2020年度 スローガン 決定!!

私たちは明るい豊かな社会実現のため、古き良きものを大切にしながらも、時代とともに変革していかなければならない。

— 以上の想いを込め、2020年度のスローガンと致しました。

執筆担当者挨拶 広報教育委員会 委員長 中野竜太

高校生、中学生の皆さん、あけましておめでとうございます。私は今お読みいただいているやっさもっさ新聞の発行を担当している広報教育委員会、委員長の中野です。今年のやっさもっさ新聞では高校生、中学生の皆さんに三原のまちやまちづくりにより興味を持っていただきたいと想い、発行しています。また、他校の取り組みやSDGsなども取り上げますのでお楽しみに。こんな記事を読みたい、またご感想などありましたらTwitterのDMやホームページからご意見をお待ちしています。一年間よろしくお祈りします。



QRコードをよみこんでみはらJCのかつそうをCheck!!

YouTube
facebook
twitter

もっと知って三原JC!! 「やっさもっさ新聞」「ホームページ」「Facebook」「三原テレビ」で情報発信中!!

やっさもっさ新聞 | ホームページ | facebook | 三原テレビ放送

三原青年会議所はどんな活動をしてる？2019年をプレイバック

5/5 子育ては親育て
～みんなの心が軽くなるレモンさんの子育てビタミントーク～



対面でのコミュニケーションが子どもの育成にどのように必要かまたどう影響があるのかを考えていただき、取り入れていただくことで心づかいを育むことを目的に講演会を実施しました。

10/15 行政機関との懇話会
～カレーライス会～



三原市長天満祥典様をお招きし、今後のまちづくり活動に繋げることを目的として「三原のまちについて」や「我々の活動について」のテーマの元、天満市長と理事が意見交換を行いました。

11/16 JUST DO IT
～親子で育まれる絆と宝～



子どもたちの原体験する機会が減少傾向にある背景を踏まえ実際に親子で体験活動を行うことで原体験の必要性・重要性・楽しさなどに気づき日々の子育ての中により多く原体験を取り入れていただくことで思いやりの心を育成する事業を行いました。

11/18 笑って学ぶSDGs



持続可能な開発目標(SDGs)を掲げている理由や活動内容を知っていただく必要があると思い、市民の皆様を対象に講師として笑下村塾のたかまつな氏、共演にSTU48のメンバー3名をお呼びし、ご講演いただきました。

2020年の活動予定をCheck!!



皆様はeスポーツというものをご存じですか。昨今、ニュースやSNSなど様々なメディアでeスポーツを目にする機会が多いと思います。eスポーツは「エレクトロニック・スポーツ」の略称で複数人のプレイヤーで対戦するゲームのことを指します。アメリカや韓国では正式なスポーツと認知されており、プロゲーマーはサインを求められるほど市民権を獲得しています。今後この新しいスポーツがオリンピック種目に加わる可能性や、世界中でさまざまな大会が開かれるなど大きなムーブメントが起こっています。ちなみに世界の競技人口はどのくらいでしょうか？サッカーは2億6500万人以上、野球は3500万人といわれています。なんとeスポーツの競技人口は1億3000万人以上!!大きな市場ですが、日本ではまだeスポーツが全体的に認知されたとはいえない状況です。しかし土壌が固まっていない状況だからこそ今後三原のまちが活性化していくチャンスがここにあるのではないのでしょうか。ポーランド南部のとある都市。人口30万人の地方都市が、年に1度3月にeスポーツの世界大会が開催され大会期間中、約17万4000人が会場へ訪れました。三原のまちでeスポーツの大会を開催して大きなムーブメントを起こしていくことで、市外・県外・国外から多くの人々が訪れてくるのではないのでしょうか。そうすれば三原のまちは多くの人でにぎわい、活気に溢れると思います。何より、eスポーツの主役はまさか新聞1月号を読んでいただいている、そのあなた!そう、皆様が三原のまちで活躍することで活気が溢れまちに広がっていくでしょう。

高校生が議会でまちづくりを提案!! みはら高校生議会



2016年、若者の意見を反映させるため参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、三原においては2017年4月の三原市長選挙及び三原市議会選挙から適用されました。適用にあたり、各学校で主権者教育が行われ主権者教育(※1)を積極的に受けてこなかった年代と比べ投票率が高くなっており一定の効果はあったものの他の世代に比べると依然投票率は低い状況でした。そこで三原青年会議所では有権者となる前の段階から体験を通じた主権者意識の向上を図ることで、質の高い投票率の向上へつながり、未来を担う若者の意見を政治に反映することが出来ると考え、事業を行いました。三原市内各高等学校生徒の皆様を対象に学校ごとに7名のグループを作り三原の問題点を調べ課題解決を考え議案書を作成していただきました。そして10月にゆめキャリアセンター市議会仮庁舎にて2017みはら高校生議会が開催。学校ごとに発表者と質問者に分かれ高校生が議員に扮し、自分たちで考えたまちの課題や問題点に対する要望等について議会で発表を行い、その議案書について投票をしていただき実際の議会を体験していただきました。議長役に三原市議会議長 仁ノ岡 範之様のもと「郷土愛あふれる三原にするために」「三原市の中心市街地を活性化させるために」「人財の地産地消～陸・海・空の交通利点を活かして」と4つの議案が上程され、活発な議論が行われました。実際に参加された高校生の皆様からは、「貴重な経験が出来た」「三原のことをより知ることが出来た」「政治に対して興味や関心を持った」など明るい意見をいただきました。

(※1 主権者教育とは社会で起きている出来事について自ら考え、主体的に行動できる人間を育成するための教育。また、若者が有権者として政治に参加するための政治的教養を育成すること)

次回の2月号は成人を迎えた新成人の皆様インタビュー!!お楽しみこ!

